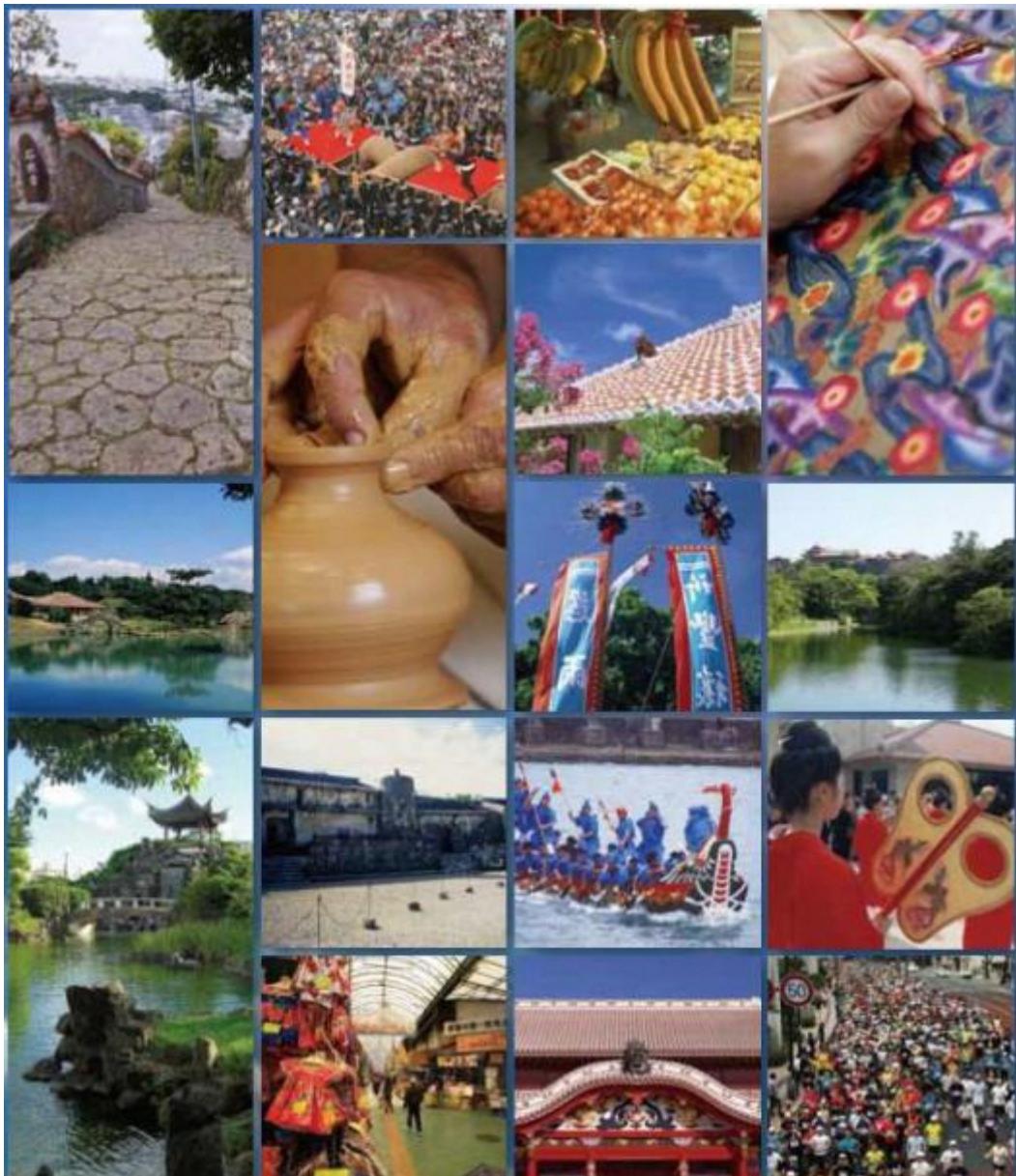


第2次那霸市觀光基本計画 素案



目次

第1章 計画改定の概要	
1 計画改定の経緯	PXX
2 計画の位置づけ	PXX
3 計画期間	PXX
第2章 那覇市を取り巻く現状と課題	
1 国内外の観光動向	PXX
(1) 概観	PXX
(2) 世界潮流	PXX
(3) 国内動向	PXX
2 那覇市の観光を取り巻く現状	PXX
(1) 那覇市の観光資源、地域資源	PXX
(2) 那覇市観光利用の実態	PXX
(3) 市民、事業者、観光客から見た那覇市のイメージ・評価	PXX
3 那覇市観光基本計画の振り返り	PXX
4 計画改定に取り込む視点	PXX
第3章 将来像と取組の柱	
1 目指す将来像	PXX
2 取組の柱と核とする観点・推進力	PXX
3 目標値	PXX
4 観光ゾーニング	PXX
第4章 取組の施策	
1 取組の体系	PXX
2 取組の内容	PXX
第5章 推進体制と進捗マネジメント	
1 推進体制の概要と基本役割	PXX
2 進捗のマネジメント	PXX

※第1回那覇市観光審議会における審議箇所

第3章 将来像と取組の柱

1. 目指す将来像
2. 取組の柱と核とする観点・推進力
3. 観光ゾーニング
4. 目標値

1. 目指す将来像

本計画は、「第5次那覇市総合計画」（平成30年度～令和10年度）の目指すまちの姿や施策の方向性を踏まえ、更なる観光振興及び地域経済の活性化を推進し、観光交流都市である那覇の将来像を実現させるために改定を行うものです。

【将来像】

みんなでつくる、美ら島の持続可能な国際観光交流都市

前計画では、沖縄21世紀ビジョンが謳う世界水準のリゾート地沖縄の形成を担いながら、第4次那覇市総合計画に謳われている「観光交流都市」の実現が掲げられていました。また、国際化の流れが一層強まる中、観光を通じた交流だけでなく、国際的なビジネス拠点や物流拠点なども視野に入れた観光地づくりを進めるとともに、行政、市民、民間事業者がそれら那覇市の魅力や個性を誇りに持ちつつ、さらに磨き上げ、内外の観光客誘致に活用することで人も、まちも活き活きとした地域社会を目指していました。

本観光振興計画では、前計画の将来像を組み込みつつ、国内外の観光動向や那覇市の観光を取り巻く現状と課題を踏まえて、具備すべき観点である「持続可能な観光振興」を重視することを示すとともに、多様なステークホルダーの観光振興への理解を醸成し、地域一体となって「国際観光交流都市」づくりを進めています。

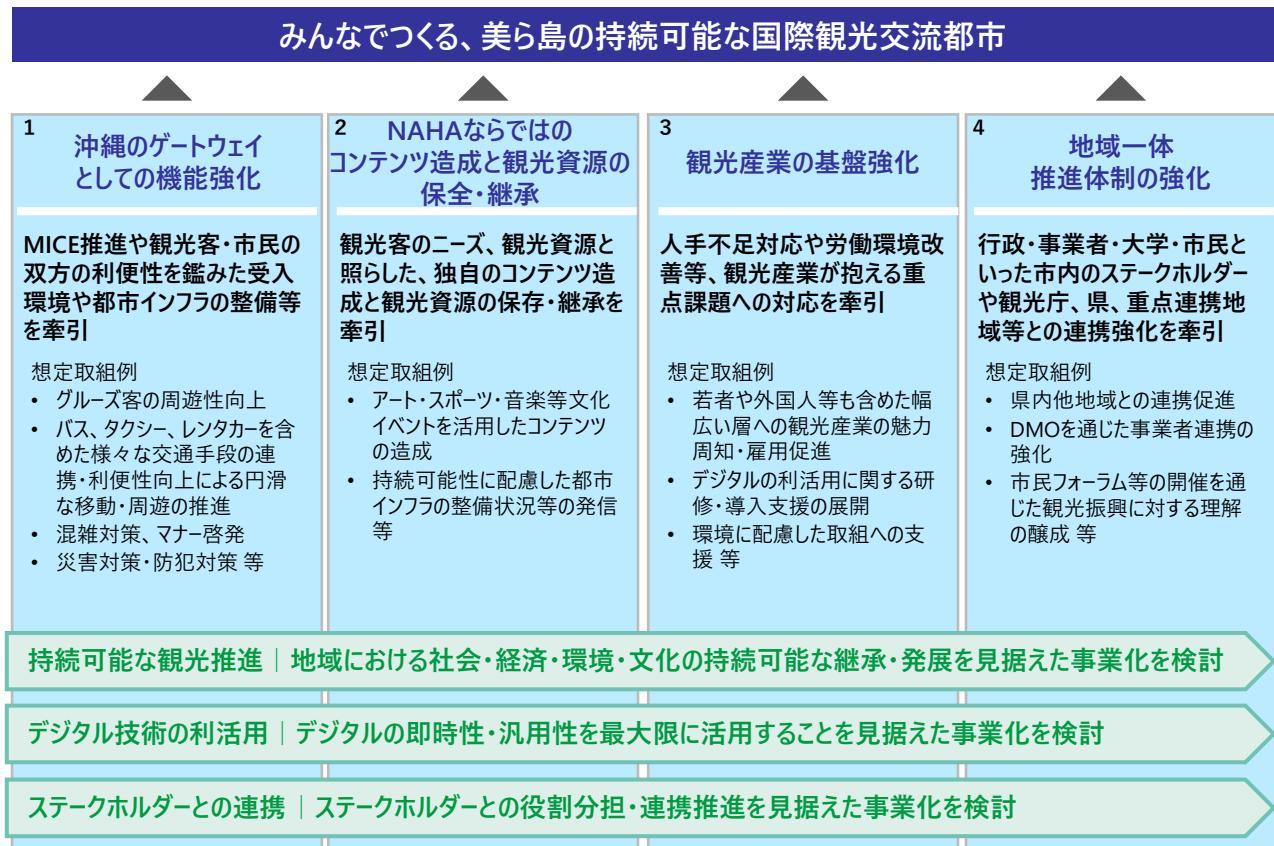
那覇市は、市民、観光事業者、観光客などのステークホルダーが、那覇市の魅力や個性を誇りに持ちつつ、協働して、より魅力や個性が磨き上げられた観光交流都市をつくっていくとともに、新型コロナウイルスが沈静化し国際的な交流が回復する中で、観光を通じた交流拠点だけでなく、国際的なビジネス拠点や物流拠点としてプレゼンスのある観光交流都市を目指します。

写真

2.「取組の柱」と「核とする観点・推進力」

第2章における那覇市の観光を取り巻く状況や第5次那覇市総合計画等を踏まえて、上記の将来像を達成するための「取組の柱」及び「事業化にあたっての核とする観点・推進力」として以下を抽出しました。

図 第2次観光基本計画における「取組の柱」と「事業化にあたっての核とする観点・推進力」の体系



※取組の柱と事業化にあたっての核とする観点・推進力の詳細説明は次ページ参照

2.「取組の柱」と「核とする観点・推進力」

2/3

(1) 取組の柱

取組の柱1

沖縄のゲートウェイとしての機能強化

沖縄観光は、豊かな自然資源や独自の歴史、文化等の観光資源を活かして、観光振興を行ってきており、その中で那覇市は、世界水準のリゾート地「美ら島 沖縄」のゲートウェイとしての機能を果たしてきました。新型コロナウイルスの沈静化に伴い、観光需要が回復し、国内客・海外客ともに観光客数が回復していくことが見込まれます。

今後、国際的な観光交流都市としてのゲートウェイ機能を高めるため、MICEの推進のほか、観光客・市民の利便性向上、回遊の円滑化などを鑑みた受入環境や都市機能の強化に取り組みます。

基本施策（ア）国内外からの交通ターミナル機能強化およびクルーズ船受入機能強化

基本施策（イ）二次交通の利便性向上等を通じた那覇市内の周遊促進

基本施策（ウ）MICEの誘致および機能強化、観光の充実

基本施策（エ）誰もが楽しめる安全・安心・快適な受入環境の整備

取組の柱2

NAHAならではのコンテンツ造成と観光資源の保全・継承

観光データ等を活用したマーケティングに基づき、市民や市外のリピーター・ファンなどに対して、それぞれの属性やニーズなどを踏まえて、世界遺産である首里城跡を筆頭に、琉球王国の歴史を伝える歴史資源や自然資源等の那覇市の既存資源の効果的な観光プロモーションを展開します。

また、那覇市に観光客を誘引し、選ばれ続ける都市であるためには、既存の地域特性を活かした観光資源を磨き上げ、「NAHA」における付加価値の高いコンテンツの創出を図ります。

基本施策（ア）那覇ならではの歴史・文化・自然・食等を活かしたコンテンツの充実化

基本施策（イ）データに基づく誘客戦略・プロモーションの実施

基本施策（ウ）歴史資源や自然資源等観光資源の保全及び継承

取組の柱3

観光産業の基盤強化

那覇市の主要産業である観光産業は人材不足や労働環境が重点課題となっています。これらの重点課題の改善に取り組むことで、観光産業の魅力を向上させ、働き手が観光産業に誇りをもって就労し続けることができるよう観光産業の基盤強化に取り組みます。

また、那覇市内での域内調達の強化等、事業活動の活性化を推進し、那覇市内における観光産業の経済効果の拡大に努めます。

基本施策（ア）雇用の確保、労働環境等の改善

基本施策（イ）事業の効率化・高付加価値化の推進

基本施策（ウ）事業活動の活性化を通じた地域貢献の拡大

2.「取組の柱」と「核とする観点・推進力」

取組の柱4

地域一体推進体制の強化

那覇市が「持続可能な観光地」づくりを推進していくためには、地域一体となって推進していくことが必要不可欠であり、多様なステークホルダーとの連携が求められます。

地域主体での持続可能な観光地づくりを行うため、観光地域づくりの舵取り役である一般社団法人那覇市観光協会（DMO）の機能強化に取り組むとともに、市民・観光関連事業者の双方に対して観光振興への理解醸成を促進し、官民が一体となった体制で観光地経営に取り組みます。

基本施策（ア）適切な観光地経営に向けたマネジメント機能強化

基本施策（イ）市内外のステークホルダーとの連携強化

基本施策（ウ）市民生活と観光振興の調和

（2）核とする観点・推進力

核とする観点 推進力1

持続可能な観光の推進

持続可能な観光の実現に当たっては、「第6次沖縄県観光振興基本計画が謳う、「世界から選ばれる持続可能な観光地」-世界とつながり、時代を切り拓く「美ら島 沖縄」を踏まえ、地域の持続可能な発展を見据え、社会・経済・文化・環境の持続可能性に配慮し、SDGsの視点を取り入れた観光振興に取り組むこととしています。市民・観光客・観光関連事業者・振興関連団体・行政が一体となって、持続可能な観光を推進していきます。

核とする観点 推進力2

デジタル技術の利活用

近年の社会情勢をみると、Wi-Fi環境の整備やキャッシュレス決済の普及をはじめ、IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）といったデジタル技術が発達し多様な領域でのデジタル化が進んでいます。加えて、コロナを契機にワーケーションやデジタルノマドなどのリモートでの環境整備も拡大しています。観光分野においてもデジタル技術の活用による生産性向上や誘客のあり方に変革をもたらすデジタル・トランسفォーメーション（DX）に積極的に取り組むことで、観光客の利便性の向上に繋げます。

核とする観点 推進力3

ステークホルダーとの連携

持続可能な観光を推進し、那覇市が掲げる将来像を実現することは、行政だけの力では達成することができません。市民・観光客・観光関連事業者・振興関連団体・行政が一体となって、観光振興に取り組むことで、持続可能な観光につながる新たな価値を生み出すと考えています。各ステークホルダーの意見を汲み取る場を積極的に設け、ステークホルダーと那覇市の将来を共に創り上げることで、将来像の実現を目指します。

3. 目標値

1/2

(1) KGI・KPIの策定

本計画では、将来像実現の進捗把握のために関連するステークホルダーごとにKGIを設定し、各取組の柱の進捗把握のために基本施策ごとのKPIを設定しております。本KGI・KPIは、中間評価（5年後）および最終評価（10年後）における計画進捗度評価に活用し、各種取組の見直しの参考としてまいります。

図表 第2次観光基本計画

将来像	関連するステークホルダー
	全体
	市民
	観光関連事業者
みんなでつくる、 美ら島の持続可能な 国際観光交流都市	観光客

取組の柱	基本施策
1. 沖縄のゲートウェイとしての機能強化	(ア) 国内外からの交通ターミナル機能強化及びクルーズ船受入機能強化 (イ) 二次交通の利便性向上等を通じた那覇市内の周遊促進 (ウ) MICE誘致および機能強化、観光の充実 (エ) 誰もが楽しめる安全・安心・快適な受入環境の整備
2.NAHAならではのコンテンツ造成と観光資源の保全・継承	(ア) 那覇ならではの歴史・文化・自然・食等を活かしたコンテンツの充実化 (イ) データに基づく誘客戦略・プロモーションの実施 (ウ) 歴史資源や自然資源等観光資源の保全及び継承
3.観光産業の基盤強化	(ア) 雇用の確保、労働環境等の改善 (イ) 事業の効率化・高付加価値化の推進 (ウ) 事業活動の活性化を通じた地域貢献の拡大
4.地域一体推進体制の強化	(ア) 適切な観光地経営に向けたマネジメント機能・体制の強化 (イ) 市内外のステークホルダーとの連携強化 (ウ) 市民生活と観光振興の調和

3. 目標値

におけるKGI・KPI及び目標値

KGI	初期値	目標値	
	2023年	2030年	2035年
● 観光消費額（総額）			
● 観光振興によって市にメリットがあると感じる市民の割合			
● 現在の職場で働き続けたいと思う観光関連事業従事者の割合			今後要更新
● 再来訪意向			
KPI	初期値	目標値	
	2023年	2030年	2035年
● 空港やクルーズターミナル等での滞在時の快適性に関する満足度			
● 二次交通の利便性満足度			
● 那覇市におけるMICE開催件数			
● MICE参加者の消費額単価			
● 観光客の那覇市観光の総合満足度			
● 観光客の消費額単価（費目別）			
● 那覇市内で体験コンテンツを体験した観光客の割合			
● 特產品等の認知度			
● 文化歴史資源や自然資源の保全・継承に貢献したいと思う市民の割合			今後要更新
● 観光事業者の正規雇用者率			
● 観光事業に従事者の仕事に対する満足度			
● ICT技術等のデジタル技術導入を進める事業者の割合			
● 具体的に地域貢献に取り組む事業者の割合			
● マネジメント機能を果たす協議会開催や体制強化等にかかる計画進捗率			
● 各ステークホルダーの意見交換の年間実施回数			
● 観光振興によって市にメリットがあると感じる市民の割合			

4. 観光ゾーニング

1/2

(1) 観光ゾーニングの目的と位置づけ

観光ゾーニングは、那覇市が保有する観光資源、歴史資源、自然資源の特性、また土地の特性に合わせて、エリアを区分し、観光機能や観光利用の方向性を想定するものです。観光ゾーニングは法的に担保性を持つものではありませんが、都市整備や歴史資源・自然資源の保護・保全計画と連携していくものです。

(2) 観光ゾーニングの基本的考え方

観光ゾーニングの区分は観光機能面において重点的に機能を担うエリアを設定していますが、設定されていない他地区においても観光資源の保護充実を図ります。

観光交流都市として、独自の歴史資源や自然資源の保全を重視しつつ、それらと共生した観光利用を図ります。

従来の観光資源（首里城、識名園）や中心市街地（国際通り）を核としながら、周辺の市街地への回遊も想定した面としての利活用を図ります。

ゾーニングは観光機能の方向性と共に、那覇らしい景観・風景の醸出も踏まえたものとします。

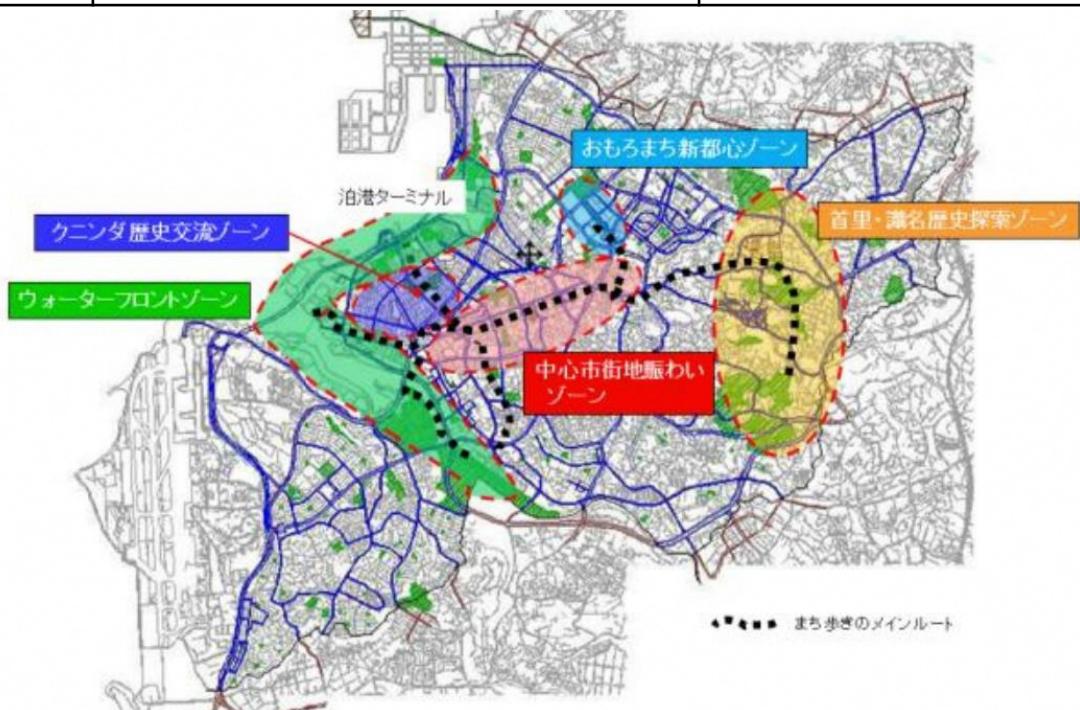
各ゾーンを連絡するまち歩きルートを設定し、その途上に那覇文化に触れられるスポットへの支線をめぐらせることを想定しています。

4. 観光ゾーニング

2/2

図表 ゾーニング区分

ゾーン区分	観光機能	観光客の楽しみ方
中心市街地 賑わいゾーン	国際通りを中心しながら、周辺の街区、店舗を歩いて探索するゾーン。ショッピング、飲食を楽しむことができるゾーン。	沖縄物産、土産と地域の逸品探し。地域の隠れた店舗、飲食店の発見。まち歩きと食・ショッピングを楽しむ。利便性の良い市街地に泊まる。
首里・識名歴史探索ゾーン	首里城及び識名園を核とし、じっくり沖縄文化の歴史を学び楽しむゾーン。「琉球の散歩道（仮称）」により、散策、サイクリング、ゆいレールを使い分け、他のエリアと行き来しながら那覇のまちを堪能する。	時間や興味に応じた琉球王国の歴史を楽しめるメニューやまち歩きを楽しむ。都市の中で歴史に包まれ、異空間と居心地の良さを感じる。
おもろまち 新都心ゾーン	新都心で宿泊し、県立博物館などで沖縄について学びながら散策し、首里城など周辺観光への拠点となるゾーン。また免税店など大型店舗でのショッピングを楽しめるゾーン。	市街地での宿泊とは異なる開放的な宿泊拠点。博物館などで沖縄の歴史を学び、芸術に触れる。ショッピングを楽しむ。
ウォーターフロントゾーン	那覇クルーズターミナル、那覇第2クルーズバースを中心としたクルーズ船の寄港地であり、クルーズ船利用客が一番最初に訪れるゾーン。また波の上ビーチや泊漁港などマリンアクティビティや食を堪能することができるゾーン。	市街地から歩いて行けるビーチを堪能する。クルーズ船の利用者は那覇の港を堪能する。那覇マグロを中心とした沖縄の水産業やマリンアクティビティを楽しむ。
クニンダ歴史 交流ゾーン	中心市街地賑わいゾーンとウォーターフロントを繋ぐゾーン。観光客に知られていない歴史地区としてアピールする。	市街地の賑わいから、海辺へいざなう散歩道。かつての旧市街地で歴史を探索する。



第4章 取組の施策

1. 取組の体系
2. 取組の内容

第5章 推進体制と進捗マネジメント

1. 推進体制の概要と基本役割
2. 進捗のマネジメント

1. 取組の体系

将来像

みんなでつくる、美ら島の持続可能な国際観光交流都市

取組の柱

基本施策

1. 沖縄のゲートウェイとしての機能強化

(ア) 国内外からの交通ターミナル機能強化及びクルーズ船受入機能強化

(イ) 二次交通の利便性向上等を通じた那覇市内の周遊促進

(ウ) MICE観光の誘致及び機能強化、観光の充実

(エ) 誰もが楽しめる安全・安心・快適な受入環境の整備

2.NAHAならではのコンテンツ造成と観光資源の保全・継承

(ア) 那覇ならではの歴史・文化・自然・食等を活かしたコンテンツの充実化

(イ) データに基づく誘客戦略・プロモーションの実施

(ウ) 歴史資源や自然資源等観光資源の保全及び継承

3.観光産業の基盤強化

(ア) 雇用の確保、労働環境等の改善

(イ) 事業の効率化・高付加価値化の推進

(ウ) 事業活動の活性化を通じた地域貢献の拡大

4.地域一体推進体制の強化

(ア) 適切な観光地経営に向けたマネジメント機能・体制の構築

(イ) 市内外のステークホルダーとの連携強化

(ウ) 市民生活と観光振興の調和

1. 取組の体系

2/2

取組概要

- 空港・港等における、歴史・伝統文化に興味を惹きつけるための仕組みづくり・おもてなし向上
- 空港・港から市街地への円滑かつ最適な移動手段の充実化及び快適な移動に向けた景観づくり
- 事業者と連携して、那覇港周辺の公共スペース等を活用した物販等消費単価向上

- アプリやデジタルサイネージ等を活用した主要施設やまちなかでの交通案内の充実化
- まち歩きを楽しめる、安心かつ魅力的な歩道空間・景観づくり
- 混雑情報・周遊ルート発信やパークアンドライド等による混雑緩和及び市内周遊の促進

- 推進主体と関係機関、地域事業者等と連携した受入体制構築
- 那覇ならではの文化・芸術・伝統・食を活用したMICE向けコンテンツ開発・ユニークベニューの促進
- ターゲットを見据えた効果的な誘致活動

- 外国語表記や対応の充実化等の外国人観光客の受入体制の整備・強化
- SNSやアプリ、QRコード等デジタルを活用した旅ナカ案内の充実化
- 障がい者、LGBTQ+、高齢者等あらゆる観光客に配慮したユニバーサルな受入環境整備の促進
- 感染症や災害等に備えた対応強化

- 観光客平準化を見据えた、季節ごと・時間ごとの観光コンテンツの開発
- 歴史や琉球文化・食文化・生活文化等を活用した体験メニューの充実化
- 伝統工芸品（琉球ガラス、首里織等）や食材（なはまぐろ等）をはじめとする地場産品、特産品の磨き上げ
- 那覇市の観光ゾーニングを踏まえた「まちまーい」の促進

- マーケティング調査データ・分析を踏まえた、性別や年代、国籍等の属性ごとのニーズや特徴の把握
- 県内外の旅行会社に対する説明会等を活用したプロモーション
- SNSやアプリ、QRコード等を活用した、情報発信の充実化

- 歴史文化・芸術資源の普及・学びの機会の創出
- 那覇ならではの歴史・歴史・自然・食等の観光資源に関する専門知識を有する人材の育成

- 就労支援、外国人材活用促進等を通じた、観光産業の雇用確保に向けた支援
- 高校・大学等との連携による、将来的な観光産業の担い手のきっかけづくり・育成
- 賃金アップや労働環境改善等の取組推進に向けた事業者への啓発

- 観光事業者のデジタル技術やICT技術導入の支援
- 観光事業者向けのオープンデータの整備・公開、データ活用の促進
- 観光事業経営者や従事者向けの、語学や“うとういむち”（おもてなし）等のスキルアップ講座の開設
- 事業者の新規取組に向けた、観光事業者の相談受入・取組支援

- 域内調達率の向上促進
- 省エネルギー・廃棄物抑制等、環境に配慮した事業活動への支援
- ボランティア活動等を通じた、観光事業者の地域活動への参画や市民との交流の促進

- JSTS-D等の国際基準を踏まえた持続可能な観光地経営の推進
- 観光協会の組織経営やマーケティング等の専門人材の育成・登用の支援

- 市内の多様なステークホルダーからの意見の吸い上げ
- DMOや周辺地域と連携した周遊促進
- 観光庁やJNTO等の国際機関との連携促進

- 市民フォーラム等の開催を通じた観光振興に対する理解の醸成
- 定期的な市民の観光振興に対する意向の調査
- 出前授業や公開講座を通じた、市民向けの語学・うとういむち（おもてなし）等のスキルアップ講座の実施

2. 取組の内容

取組の柱1

沖縄のゲートウェイとしての機能強化

基本施策（ア）

国内外からの交通ターミナル機能強化及びクルーズ船受入機能強化

国際的なリゾート地である沖縄の拠点都市としてのプレゼンスを確立し持続的に成長していくために、交通ターミナル機能の強化を図ります。また、アフターコロナにおける今後の需要拡大が見込まれるクルーズ船の受入機能の強化に向けた取組を推進します。

【取組概要】

◆ 空港・港等における、歴史・伝統文化に興味を惹きつけるための仕組みづくり・おもてなし向上

那覇市の歴史や伝統文化を発信できるような展示等を通じて、那覇空港や那覇港を利用する観光客に那覇の歴史や伝統文化を認識できる機会を提供します。



写真

図1：XXXX

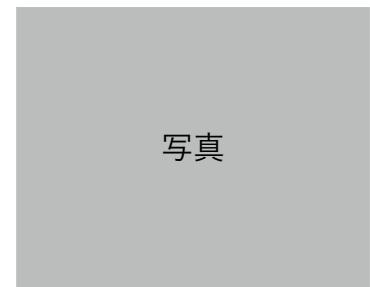
〈実施主体〉

観光課

那覇市観光協会

◆ 空港・港から市街地への円滑かつ最適な移動手段の充実化及び快適な移動に向けた景観づくり

那覇空港や第2クルーズバース等の移動拠点から那覇市中心市街地まを円滑かつ快適に移動できるように手段の充実化を図るとともに、快適な移動に向けて景観整備を推進します。



写真

図1：XXXX

〈実施主体〉

観光課

都市計画課

道路建設課

道路管理課

観光関連事業者

◆ 事業者と連携して、那覇港周辺の公共スペース等を活用した物販等消費単価向上

那覇市が有する観光資源等を活用し、新たな特産品や土産品の企画・開発支援を行うとともに、那覇空港や那覇港周辺での販売を促進します。



写真

図1：XXXX

〈実施主体〉

商工農水課

観光関連事業者

2. 取組の内容

2/13

基本施策（1）

二次交通の利便性向上等を通じた那覇市内の周遊促進

那覇市内における周遊観光を促進していくために、交通結節点の整備・機能強化と那覇空港や那覇港からの二次交通の利便性向上を図ります。また、観光客と市民の双方に配慮をしながら交通対策への取組を推進します。

【取組概要】

◆ アプリやデジタルサイネージ等を活用した主要施設やまちなかでの交通案内の充実化

県と連携した公共交通機関の停留所におけるデジタルサイネージ等の設置やアプリ・デジタルサイネージ内の情報整理を通じて、観光客のソフト面における受入環境整備を推進します。

〈実施主体〉

道路建設課

観光関連事業者

写真
100台の
デジタルサイネージ？

図1：XXXX

◆ まち歩きを楽しめる、安心かつ魅力的な歩道空間・景観づくり

歩行者と自動車が共存した道路空間を整備や「那覇らしい」景観整備に貢献する立体植栽等那覇市におけるウォーカブルを楽しめる魅力的な歩道空間・景観づくりを実施します。

〈実施主体〉

都市計画課

道路建設課

道路管理課

公園管理課

写真
立体植栽

図2：XXXX

◆ 混雑情報・周遊ルート発信やパークアンドライド等による混雑緩和及び市内周遊の促進

パークアンドライドやサイクルアンドライド、フリンジパーキング等の活用促進及び交通機関別周遊ルートの整備・周知活動により、那覇市の交通渋滞対策及び周遊促進に取り組みます。

〈実施主体〉

都市計画課

写真
立体植栽

図3：XXXX

2. 取組の内容

3/13

基本施策（ウ）

MICEの誘致及び機能強化、観光の充実

令和6年度に公開された那覇市都市型MICE振興戦略を踏まえながら、地域事業者や関係機関との連携により来訪者の受入体制を構築し、MICE主催者等への支援、地域への経済効果の取り込みに取り組みます。

【取組概要】

◆ 推進主体と関係機関、地域事業者等と連携した受入体制構築

那覇市を中心に那覇市観光協会をはじめとする関係機関や地域事業者等と連携しMICE受入体制を構築し、MICE受入を推進します。

写真

〈実施主体〉

観光課

那覇市観光協会

図1：XXXX

◆ 那覇ならではの文化・芸術・伝統・食を活用したMICE向けコンテンツ開発・ユニークベニューの促進

那覇文化芸術劇場なはーとや識名園等を活用したMICE機会の拡充に加え、琉球舞踊やエイサー、空手等の伝統文化や那覇の食文化を体験してもらう取組を推進します。

写真

〈実施主体〉

観光課

文化振興課

文化財課

なはまち振興課

図1：XXXX

◆ ターゲットを見据えた効果的な誘致活動

那覇市都市型MICE振興戦略に沿って、経済振興とまちづくりに寄与するMICEの開催誘致に取り組みます。

写真

〈実施主体〉

観光課

那覇市観光協会

図1：XXXX

2. 取組の内容

基本施策（工）

誰もが楽しめる安全・安心・快適な受入環境の整備

那覇市内における、より質の高い観光に向けて、年齢・性別・国籍を問わず誰もが安心・安全・快適に観光できることを念頭に、SDGsの考えも踏まえたうえで、観光客向けの税金等も活用しながらハード・ソフト両面の受入環境を整備します。

【取組概要】

◆ 外国語表記や対応の充実化等の外国人観光客の受入体制の整備・強化

「那覇まちま～い」における外国語対応スタッフの増員や飲食店における多言語化の推進等、外国人観光客の受入体制の整備・強化に取り組みます。

〈実施主体〉

観光課

なはまち振興課

那覇市観光協会

観光関連事業者

学術機関

写真

図1：XXXX

◆ SNSやアプリ、QRコード等デジタルを活用した旅ナカ案内の充実化

那覇市及び那覇市観光協会の公式SNSやデジタルサイネージ等を活用して、観光客が必要とする情報をタイムリーに取得できるよう環境整備に取り組みます。

〈実施主体〉

観光課

なはまち振興課

那覇市観光協会

写真

図1：XXXX

◆ 障がい者、LGBTQ+、高齢者等あらゆる観光客に配慮したユニバーサルな受入環境整備の促進

那覇市の観光に関わる人全てを対象として、バリアフリーに関する学習機会を提供するとともに、沖縄県のユニバーサルデザイン推進指針等の方針に沿って、受入環境の整備を推進します。

〈実施主体〉

道路建設課

都市計画課

道路管理課

福祉政策課

那覇市観光協会

観光関連事業者

写真

図1：XXXX

◆ 感染症や災害等に備えた対応強化

感染症や災害等の非常時における観光関連事業者、那覇市民、観光客の対応強化を図る危機管理に向けた取組を推進します。

〈実施主体〉

観光課

保健総務課

予防課

防災危機管理課

救急課

生活衛生課

建築指導課

観光関連事業者

写真

図1：XXXX

2. 取組の内容

取組の柱2

NAHAならではのコンテンツ造成と観光資源の保全・継承

基本施策（ア）

那覇ならではの歴史・文化・自然・食等を活かしたコンテンツの充実化

那覇ならではの歴史・文化・特産物などを保全し次世代に継承しながら、生活文化や若者文化等の新たな資源も発掘しつつ、これらを活かしたコンテンツの発掘・創造・磨き上げを行い、那覇でしかできない体験の提供に取り組みます。

【取組概要】

◆ 観光客平準化を見据えた、季節ごと・時間ごとの観光コンテンツの開発

観光客の平準化を見据えて、なはまぐろ等の那覇市が有する観光資源を活用したナイトタイム・早朝のコンテンツ造成に取り組みます。

写真

〈実施主体〉

観光課

商工農水課

観光関連事業者

図1：XXXX

◆ 歴史や琉球文化・食文化・生活文化等を活用した体験メニューの充実化

那覇市指定無形民俗文化財に指定されている伝統芸能とのふれあい機会や「食」をテーマとした体験型のコンテンツ造成に取り組みます。

写真

〈実施主体〉

観光課

商工農水課

なはまち振興課

文化振興課

文化財課

観光関連事業者

図1：XXXX

◆ 伝統工芸品（壺屋焼き、首里織等）や食材（なはまぐろ等）をはじめとする地場産品、特産品の磨き上げ

壺屋焼き、首里織やなはまぐろのような地場産品・特産品の既存商品の販売促進活動支援を通じて、那覇市ならではの歴史・文化・自然・食の磨き上げを図ります。

写真

〈実施主体〉

商工農水課

那覇市観光協会

観光関連事業者

図1：XXXX

◆ 那覇市の観光ゾーニングを踏まえた「まちまーい」の促進

観光ゾーニングで設定している重点エリアへの市民・観光客の誘客を見据え、商店街の活性化に取り組むとともに、まち歩きに係る環境整備による那覇市内広域の周遊促進を図ります。

写真

〈実施主体〉

商工農水課

なはまち振興課

道路管理課

那覇市観光協会

図1：XXXX

2. 取組の内容

6/13

基本施策（1）

データに基づく誘客戦略・プロモーションの実施

データに基づきながら、来訪者の属性ごとに適切な誘客・プロモーションをステークホルダーと連携して行います。また、情報発信にあたっては、発信方法を来訪者のニーズに合わせて常に最適化を図っていきます。

【取組概要】

◆ マーケティング調査データ・分析を踏まえた、性別や年代、国籍等の属性ごとのニーズや特徴の把握

那覇市観光協会や観光関連事業者等のステークホルダーと連携しながら、性別や年代、国籍等の那覇市への来訪者属性に沿ったニーズや観光の特徴を把握します。

写真

〈実施主体〉

観光課

那覇市観光協会

観光関連事業者

図1：XXXX

◆ 県内外の旅行会社に対する説明会等を活用したプロモーション

プロモーションフィールドを最大限活用し、旅行会社への誘客を図るとともに、那覇市における安心・安全・快適な観光に向けた取組を旅行会社を通じて観光客に周知します。

写真

〈実施主体〉

観光課

那覇市観光協会

図1：XXXX

◆ SNSやアプリ、QRコード等を活用した情報発信の充実化

旅マエ・旅アトにおいて、那覇市や那覇市観光協会の公式SNS、各種旅行サイトと連携してなはまぐろをはじめとする那覇市の特産品等の那覇ブランド周知に取り組みます。

写真

〈実施主体〉

観光課

商工農水課

秘書広報課

図1：XXXX

那覇市観光協会

2. 取組の内容

7/13

基本施策（ウ）

歴史資源や自然資源等観光資源の保全及び継承

世界遺産である首里城跡を筆頭に、琉球王国の歴史を伝える有形及び無形の歴史資源や自然資源等の維持保全を推進するとともに、那覇市の文化芸術の担い手や観光ガイドの育成を通じて次世代への観光資源の継承に取り組みます。

【取組概要】

◆歴史文化・芸術資源の普及・学びの機会の創出

琉球王国の歴史を伝える有形・無形の歴史資源の保全に取り組むとともに、地域に根差す伝統文化に触れる機会や保全・継承の方法等を学ぶ機会を「那覇文化芸術劇場なはーと」や学校等と共に創出します。

写真

図1：XXXX

〈実施主体〉

観光課 文化振興課 文化財課

那覇市観光協会

学術機関

◆那覇ならではの歴史・自然・食等の観光資源に関する専門知識を有する人材の育成

那覇市の観光資源を後世へ継承し、持続的に活用し続けることを見据えて、那覇市の観光資源に関する適切な知識を観光客に伝えることができるガイドや歴史文化の担い手等の育成に取り組みます。

写真

図1：XXXX

〈実施主体〉

観光課 文化振興課 なはまち振興課

那覇市観光協会

観光関連事業者

2. 取組の内容

8/13

取組の柱3

観光産業の基盤強化

基本施策（ア）

雇用の確保、労働環境等の改善

沖縄県や業界団体、那覇市との連携ながら、観光関連事業者の経営基盤の強化に向けた雇用・労働環境の整備にかかる取組を推進します。

【取組概要】

◆ 就労支援、外国人材活用促進等を通じた、観光産業の雇用確保に向けた支援

市内事業者と外国人材のマッチングや外国人材の活用支援、DX推進人材の雇用・育成支援を通じて、観光産業の雇用確保に取り組みます。

写真

〈実施主体〉

商工農水課

観光関連事業者

図1：XXXX

◆ 高校・大学等との連携による、将来的な観光産業の担い手のきっかけづくり・育成

高校や大学と観光関連事業者による産学連携を促進し、「学生」へ観光産業の魅力を伝えることで観光産業における創業・就職を促進します。

写真

〈実施主体〉

観光課

那覇市観光協会

学術機関

図1：XXXX

観光関連事業者

◆ 賃金アップや労働環境改善等の取組推進に向けた事業者への啓発

観光関連事業者を対象として、創業・就職支援を行うとともに、従事者の労働環境改善に向けた支援を行うことで観光産業における定着率の向上を図ります。

写真

〈実施主体〉

商工農水課

図1：XXXX

2. 取組の内容

9/13

基本施策（1）

事業の効率化・高付加価値化の推進

観光産業の持続的な発展に向けて、デジタル技術の導入支援や従事者のスキルアップ支援、新規事業支援等を通じた事業の効率化・高付加価値化を推進します。

【取組概要】

◆ 観光事業者のデジタル技術やICT技術導入の支援

市内事業者がDX推進人材を雇用・育成する際の支援に加えて、生産性向上に向けた取組の支援を行います。

写真

〈実施主体〉

観光課

商工農水課

観光関連事業者

◆ 観光事業者向けのオープンデータの整備・公開、データ活用の促進

リアルタイムのフライト予約数・宿泊施設予約数・日別施設訪問者数等のオープンデータの観光関連事業者間での利活用に向けた取組を推進します。

図1：XXXX

写真

〈実施主体〉

観光課

那覇市観光協会

観光関連事業者

◆ 観光事業経営者や従事者向けの、語学や“うとういむち”（おもてなし）等のスキルアップ講座の開設

来訪者に対する那覇らしさの提供を見据えて、市民や観光関連事業者を対象とした語学やおもてなし等の学習機会を提供します。

図1：XXXX

写真

〈実施主体〉

生涯学習課

観光関連事業者

学術機関

◆ 事業者の新規取組に向けた、観光事業者の相談受入・取組支援

庁内における産業振興分野に知見を有する課と連携しながら、観光関連事業者を対象とした創業・就職支援を推進します。

図1：XXXX

写真

〈実施主体〉

観光課

商工農水課

図1：XXXX

2. 取組の内容

基本施策（ウ）

事業活動の活性化を通じた地域貢献の拡大

観光産業を地域に根差したものとして、那覇市の地域社会と共に存しながら持続的に発展させるために、事業活動と地域社会の活性化の両輪に貢献する取組を推進します。

【取組概要】

◆ 域内調達率の向上促進

那覇市の伝統工芸品や食材（なはまぐろ等）をはじめとする地場産品、特産品を観光関連事業者へ継続的に周知等を実施し、那覇市内の事業者から調達する割合を高めます。

写真

〈実施主体〉

商工農水課

観光関連事業者

図1：XXXX

◆ 省エネルギー・廃棄物抑制等、環境に配慮した事業活動への支援

来訪者が排出するごみの減量等の那覇市の環境保全に貢献していることが可視化できるサステナブルツーリズム・エコツーリズムの推進など、環境保全に向けた取組の支援を行います。

写真

〈実施主体〉

観光課

環境政策課

企画調整課

観光関連事業者

学術機関

図1：XXXX

◆ ボランティア活動等を通じた、観光事業者の地域活動への参画や市民との交流の促進

市民や観光関連事業者参加型で推進する景観整備や那覇市の環境を守っていくための講習会等を通じて、観光事業者と市民の交流機会を創出します。

写真

〈実施主体〉

道路管理課

環境政策課

那覇市観光協会

観光関連事業者

図1：XXXX

2. 取組の内容

取組の柱4

地域一体推進体制の強化

基本施策（ア）

適切な観光地経営に向けたマネジメント機能強化

観光地経営の担い手を明確にし、必要な機能、担うべき役割や責任等を定めたうえで、推進体制をブラッシュアップするとともにPDCAサイクルの円滑化を図ります。

【取組概要】

◆ JSTS-D等の国際基準を踏まえた持続可能な観光地経営の推進

持続可能な観光推進を継続的に取り組むことを見据え、定期的にアクセスメントを実施するとともに、JSTS-D等の国際基準に沿った取組推進を支援します。

写真

〈実施主体〉

観光課

那覇市観光協会

図1：XXXX

◆ 観光協会の組織経営やマーケティング等の専門人材の育成・登用の支援

那覇市の観光地経営の中核を担う那覇市観光協会が、データに基づいた観光マーケティングを展開するための専門人材育成・登用を支援します。

写真

〈実施主体〉

観光課

那覇市観光協会

図1：XXXX

2. 取組の内容

12/13

基本施策（1） 市内外のステークホルダーとの連携強化

那覇市観光協会や観光関連事業者と密に連携し、地域一体となった推進体制の強化を図ります。また、沖縄県、周辺市町村等の外部の多様なステークホルダーとも継続的に連携強化を図っていきます。

【取組概要】

◆ 市内の多様なステークホルダーからの意見の吸い上げ

那覇市観光協会や観光関連事業者が参画する各種協議会や市民・観光関連事業者へのアンケート等を通じて、各ステークホルダーから那覇市の観光振興に対する意見を適時・適切に吸い上げます。

写真

〈実施主体〉

観光課

企画調整課

図1：XXXX

◆ DMOや周辺地域と連携した周遊促進

沖縄県や沖縄観光コンベンションビューロー、周辺市町村と密に連携しながら周知を図り、県全体の周遊促進・観光振興を進めます。

写真

〈実施主体〉

観光課

平和交流・男女参画課

図1：XXXX

◆ 観光庁やJNTO等の国際機関との連携促進

省庁が展開する補助事業や実証事業への参画・対外的なプロモーションを通じて、観光庁やJNTO等の国際機関との連携を強化します。

写真

〈実施主体〉

観光課

那覇市観光協会

図1：XXXX

2. 取組の内容

13/13

基本施策（ウ）

市民生活と観光振興の調和

観光振興が市民生活に及ぼす影響を市民に周知することで、観光振興に対する理解や貢献意欲を醸成するとともに、市民と連携しながら観光地域づくりに取り組みます。また、市民生活に生じうる悪影響に対しては、オーバーツーリズムへの対策等により、市民生活と観光振興の調和を図ります。

【取組概要】

◆ 市民フォーラム等の開催を通じた観光振興に対する理解の醸成

市民フォーラムや伝統文化へのふれあい機会等の那覇市民が直接参加できるイベントを通じて、那覇市における観光振興の効果を共有し、観光振興に対する理解を醸成します。

昨年度に実施したワークショップの写真

〈実施主体〉

観光課

文化振興課

図1：XXXX

◆ 定期的な市民の観光振興に対する意向の調査

那覇市が継続的に実施している市民意識調査等を通じて、那覇市民と連携して地域一体で観光振興を進めていくために、観光振興に対する満足度や要望等を吸い上げます。

アンケートの調査票？

〈実施主体〉

観光課

企画調整課

図1：XXXX

◆ 出前授業や公開講座を通じた、市民向けの語学・うとういむち（おもてなし）等のスキルアップ講座の実施

那覇市において、従来から展開している観光業界における創業・就職支援に向けたセミナー等の実施に加えて、市民が観光客に対するおもてなしを提供することを見据えて、語学やおもてなしに係る観光教育を提供します。

語学講座の授業風景

〈実施主体〉

商工農水課

生涯学習課

文化振興課

図1：XXXX

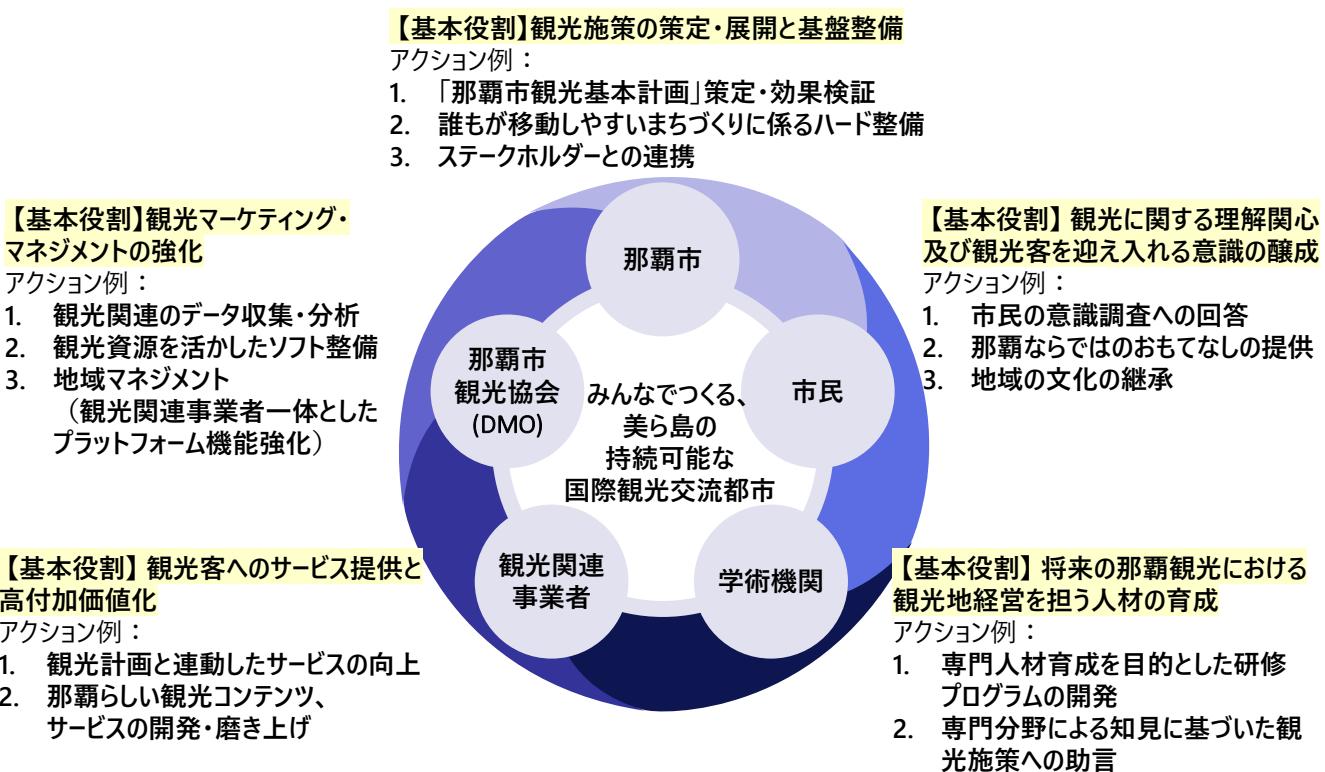
1. 推進体制の概要と基本役割

1/2

本計画では、那覇市、那覇市観光協会（DMO）、観光関連事業者、学術機関、市民が那覇市観光の将来像を共有し、それぞれの役割分担を踏まえた上で連携、協働して計画推進に取り組みます。

那覇市は、国・県などとの調整・連携を図り、府内関係部課との横断的連携により本計画を総合的に推進する役割を担います。那覇市観光協会（DMO）は、那覇市との連携をより一層強めることで、本市の観光振興を効果的・効率的に遂行することが求められます。

図 第2次那覇市観光基本計画の推進体制と基本役割



1. 推進体制の概要と基本役割

2/2

図表 取組推進における役割分担

取組の柱	基本施策	那覇市	観光協会	事業者	学術機関	市民
1.沖縄のゲートウェイとしての機能強化	(ア) 国内外からの交通ターミナル機能強化およびクルーズ船受入機能強化	●	●	●		
	(イ) 二次交通の利便性向上等を通じた那覇市内の周遊促進	●		●		
	(ア) MICE観光の誘致および機能強化、観光の充実	●	●			●
	(ウ) 誰もが楽しめる安全・安心・快適な受入環境の整備	●	●	●	●	
2.NAHAならではのコンテンツ造成と観光資源の保全・継承	(ア) 那覇らではの歴史・文化・自然・食等を活かしたコンテンツの充実化	●	●	●		
	(イ) データに基づく誘客戦略・プロモーションの実施	●	●	●		
	(ウ) 歴史資源や自然資源等観光資源の保全及び継承	●	●	●	●	●
3.観光産業の基盤強化	(ア) 雇用の確保、労働環境等の改善	●	●	●	●	●
	(イ) 事業の効率化・高付加価値化の推進	●	●	●	●	
	(ウ) 事業活動の活性化を通じた地域貢献の拡大	●		●	●	●
4.地域一体推進体制の強化	(ア) 適切な観光地経営に向けたマネジメント機能・体制の構築	●	●			
	(イ) 市内外のステークホルダーとの連携強化	●	●			●
	(ウ) 市民生活と観光振興の調和	●				●

2. 計画進捗のマネジメント

本計画の推進にあたっては、「1. 推進体制の概要と基本役割」で示す観光関連団体それぞれが役割を担いながら相互に連携して取り組むとともに、適切な進捗マネジメントが不可欠です。

そのために、庁内での進捗管理や、観光関連団体で構成される協議会（観光審議会等）を通じて、幅広い分野にまたがる本計画の各種施策を円滑に推進していくとともにPDCAサイクルに基づいて進捗のマネジメントを図ります。

また、中間の5年目には、上記の進捗マネジメントに加えてアンケート調査やパブリックコメントでの意見収集を通じた、関係団体からの意見や社会情勢の変化、客観的な進捗評価等に基づき、必要な計画の見直しを行い計画の着実な推進を目指します。

上記本文の推進イメージを今後作成する予定です。

【参考】用語
